

- ① 胎児超音波診断研究会
- ② 桜山ICLS講習会
- ③ 救命救急サークル
- ④ H26年度利用統計  
交通案内・利用方法 など



愛知県地域医療再生計画により設立された、名古屋市立大学病院臨床シミュレーションセンターは、新生児医療、周産期医療、救急医療の3領域の研修を通じて地域の医療安全の確保とチーム医療の向上を目指します。

### 胎児超音波診断研究会

神奈川県立こども医療センター（神奈川県横浜市）で定期的に行われている胎児心エコーのセミナー（神奈川胎児心エコー研究会、神奈川胎児診断症例報告会）には、全国から多くの方々に参加されています。しかし、なかなか地元を留守にできない、交通費、宿泊費の負担が大きい、などの事情から、遠方からの参加は難しいというのが実情でした。これにこたえる形で、現在、神奈川胎児診断症例報告会、神奈川胎児心エコー研究会（ベーシック講座、アドバンス講座）、胎児MRI研究会について、インターネット回線を用いた遠隔配信を実施して頂いています。

当院でも、地域の周産期医療に貢献するべく、1年ほど前から神奈川胎児診断症例報告会の遠隔配信会場の一つとして参加しています。当初は、音声が聞こえない、画像が止まってしまう、などのネット配信に関わる様々なトラブルを生じ、参加して頂いた方々には本当にご迷惑をおかけしましたが、回を重ねるにつれ、安定した視聴環境を提供できるようになりました。また、小児科（新生児科）、産科の医師だけでなく、近隣産科の超音波技師さんにも参加して頂いております。双方向性ではないため、リアルタイムに質問をするといった機能には欠けますが、毎回胎児診断、新生児治療の第一線の方々の有意義な講義を受講することができます。胎児診断、先天性心疾患にご興味のある方々、是非ご参加ください。

詳しくは下記のHPもご参照ください。（参加申し込みもこちらから）



長崎 理香先生  
小児科

Kawataki Kanagawa  
胎児心エコーセミナー遠隔配信  
<http://supportoffice.jp/kawatakiecho/>



研究会の風景

## 桜山 I C L S (成人二次救命処置) 講習会

ICLS講習会は、医学教育分野におけるシミュレーション教育の原点ともいえます。桜山ICLS講習会は、標準化された蘇生教育、すなわち一次および二次救命処置を学ぶものであり、平成15年10月に第1回を開講して以来、現在まで61回開催されています。統計をとり始めた第8回以降の受講者総数は1,575名であり、院内のみならず院外の受講者も多く、社会的にも十分に貢献していると自負しています。また、桜山ICLS講習会は、受講するだけでなく、継続的にスタッフとして参加し、受講生にインストラクションをすることにより、さらに蘇生知識の理解を深めることを目的としています。インストラクターもしくはアシスタントインストラクターとして参加したスタッフ総数は1,367人になりました。院外からのスタッフも多く、この講習会を通じて各所属施設の蘇生教育につなげたいという思いで、多くの医療従事者にご参加頂いています。



増田 和彦先生  
救命救急センター

院内外の職種別受講者数の統計より、直近10回の開催分については、他院からの受講者数が当院の受講者数を上回っており、また他院の研修医(主に中京病院、名古屋記念病院、西部医療センターの研修医)の受講者が多くみられます。さらに、医師、看護師以外の医療従事者の受講者も増えてきている傾向にあります。

突然の心肺停止は、病棟や外来・出張先などどこでも起こり得ますので、この標準化された一次および二次救命処置を学ぶということは大変有意義であると思います。講習会終了後の受講者のアンケート結果からは、受講生全員の方々から「満足」「これからの医療の現場に役立つ」との高い評価をいただいています。今後も多くの院内外のスタッフとともに、この桜山ICLS講習会を継続し、院内外の蘇生教育に貢献したいと考えています。

桜山ICLS講習会受講者総数および職種別受講者数

	8回～62回 (注1)		8回～20回 (平成17年～19年)		21回～40回 (平成19年～22年)		41回～62回 (平成22年～27年)		直近53回～62回 (最近10回の開催分)	
全開催分総合計数	1575		343		555		677		314	
医療関係者	当院	他施設	当院	他施設	当院	他施設	当院	他施設	当院	他施設
医師	89	41	51	16	29	11	9	14	3	3
歯科医師	21	3	0	0	4	2	17	1	6	1
研修医	113	44	52	6	34	16	27	22	13	22
看護師	478	463	108	38	180	127	190	298	67	169
助産師	2	8	0	0	1	0	1	8	0	8
薬剤師	1	9	0	0	0	4	1	5	1	2
理学療法士	0	5	0	0	0	0	0	5	0	4
放射線技師	0	5	0	0	0	0	0	5	0	5
臨床工学士	1	5	0	0	1	0	0	5	0	0
救急隊員	—	77	—	48	—	18	—	11	—	3
受講者小計	705	660	211	108	249	178	245	374	90	217
大学関係等	市大関係	他施設	市大関係	他施設	市大関係	他施設	市大関係	他施設	市大関係	他施設
教員	7	7(注2)	3	0	4	0	0	7	0	0
医学部学生	177	6	20	1	118	3	39	2	4	1
看護学部学生	2	3	0	0	1	0	1	3	0	1
薬学部学生	3	0	0	0	2	0	1	0	0	0
その他	0	5(注3)	0	0	0	0	0	5	0	1
受講者小計	189	21	23	1	125	3	41	17	4	3
施設毎合計	894	681	234	109	374	181	286	391	94	220

注1：第27回は中止

注2：すべて看護教員

注3：臨床検査技師の専門学校生、鍼灸指圧師、あん摩マッサージ鍼灸師、介護福祉士

## 救急救命サークル「MeLSC」

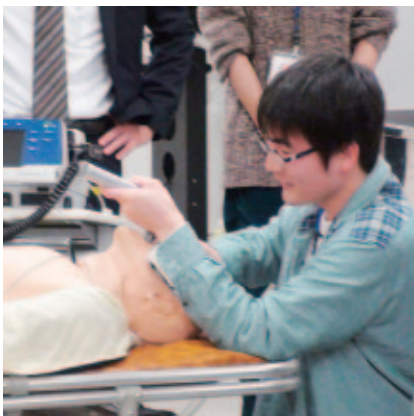
MeLSCは、「名市大の学生および地域の方々みんなが一次救命処置を行えるようになる」こと、学生同士で学びあい、医療系学生として知識や経験を深める」ことを目標として活動しています。毎月の勉強会では、BLS、外傷救急、ALS、バイタルなど様々な救急に関する勉強をしています。特にBLSは繰り返し勉強しており、レサシアン、ベビアンを使用して実際のBLSに近い環境で学習しています。夏には職員や医療系以外の学生に対してBLS講習会を開催し、BLSを普及させる活動を行っています。名市大に所属するすべての人が、目の前で倒れた人の救命処置ができるようになるため、今後も講習会を積極的に行っていきたいと考えています。

ALSの勉強会ではALSシミュレータを用いて二次救命措置について勉強します。挿管器具をつかった気管挿管や、除細動器を用いた心電図の読み取りと電気ショックなど実践的な学習ができます。大学の講義で学んだことを応用して理解が深まったり、実際の医療現場に近いことをして自ら学ぶ意欲も高まったりします。

また、全国の学生と合同で行うワークショップも行います。全国の多くの学生と教え合うことで、自らの知識を深めたり広めたりすることができます。このようにMeLSCでは学生間で学び合うことで能力の向上を図り、身につけた知識や手技をもってさまざまな人にBLSを広めていきます。MeLSCの活動によって多くの人がBLSを行うことができるようになり、少しでも多くの命が助かることを願い、これからも活動を続けていきます。



MeLSCの代表者の学生





## 編集後記

今号では、当センターの目標である、「地域の医療安全の確保とチーム医療の向上」に結びつく3つの活動について、記事をお寄せ頂きました。胎児超音波診断研究会は新しい流れであり、この地域で行うことに大きな意義があると思います。桜山ICLS講習会は医師会をはじめ地域の皆様から高く評価して頂いており、今や、この地域にはなくてはならない活動です。ここまで大きく成長させた増田先生及び関係者の方々の努力に敬意を表します。救急救命サークルMeLSC(メルシーと呼ぶそうです)の活動からは、若い世代の熱い思いを感じます。今後も、それぞれの活動を更に発展していただけるように、我々センタースタッフも協力していきたいと思ひます。

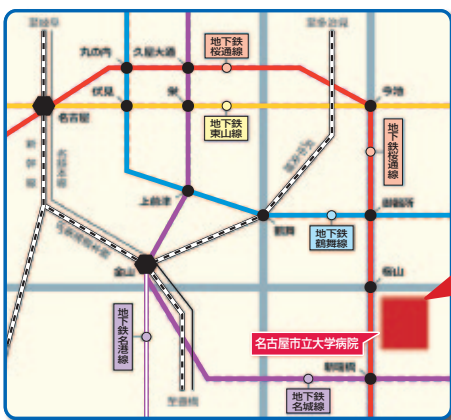


## 平成26年度 センター利用者数

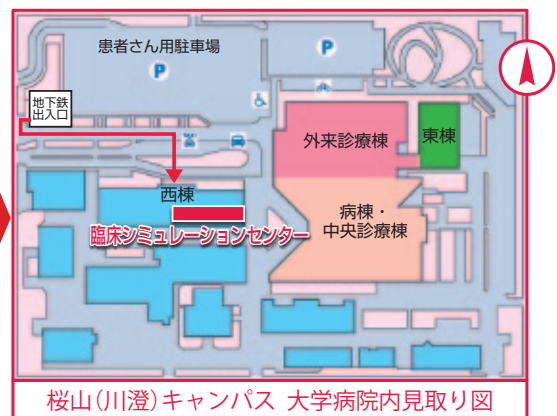
(単位:名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
全体	1114	1035	1070	807	936	836	1128	819	1237	584	504	796	10868
うち学外	71	161	442	240	305	450	417	408	573	119	243	308	3737
利用件数	56	48	49	35	26	49	59	66	53	36	29	21	571

## 交通案内



名古屋市立大学病院  
西棟 1階



### [交通機関]

地下鉄 桜通線「桜山」駅下車 3番出口  
市バス 金山7番のりばより 金山12「市立大学病院」下車  
金山8番のりばより 金山14「市立大学病院」下車  
(一般用駐車場がありませんので、公共交通機関でお越し下さい)

## 利用方法

- ・ ホームページ (URL <http://www.med.nagoya-cu.ac.jp/simncu/index.html>) より利用申請書・不動産一時貸付申請書をダウンロードしてFAX、郵送または受付まで持参していただけますと、センターで利用許可証を発行します。
- ・ 使用予定日の6ヶ月前の月の最初の平日よりお申し込みいただけます。
- ・ 特にセンターの設立目的に合った利用のみは6か月以上先の予約でも受け付けます。従って、第1受付日でも既にお申し込みいただけない日ができる場合がございます。ご注意ください。最新の施設空き状況は、お電話にてお問い合わせください。
- ・ 使用目的、使用計画などをお知らせいただきセンター設立目的に合わないものは利用をお断りすることがございます。詳しくは、センターホームページをご覧ください。センター事務室までお問い合わせください。
- ・ 敷地内及び周辺道路における禁煙を実施しています。

### 受付時間

月-金 9時から17時(祝日除く)

vol.9  
(2015.6)

発行：名古屋市立大学病院臨床シミュレーションセンター  
電話 052-853-8429 FAX 052-853-8436  
E-mail [simncu@med.nagoya-cu.ac.jp](mailto:simncu@med.nagoya-cu.ac.jp) URL <http://www.med.nagoya-cu.ac.jp/simncu/index.html>